

Forest 通信 ^{H27} 12

林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター NO.322

巻頭 photo

高尾山の生きものたち

喉に蝶ネクタイ模様 ヒガラ (シジュウカラ科)

主に亜高山の針葉樹林で繁殖し、冬には低山や平地で越冬するシジュウカラの仲間です。

野鳥撮影は何ととっても「動き」のある写真が最高で、体長 11cm、羽を広げた長さが 17cm と小柄の上、動きが素早いヒガラの飛翔撮影は苦勞しますが、時には思いもかけずに掲載写真のような画が撮れることがあります。

喉に蝶ネクタイのような黒い三角形の模様が特徴です。

今月の一句

「この鳥に 出会って今日も 良き日柄」

(フォレストサポートスタッフ 大作 栄一郎)



ヌルデ (ウルシ科)

ヌルデはウルシの仲間であり奇数羽状複葉で、葉軸に翼があるのでこれを目安にして探すと見つけやすい。

ヌルデといえばやはり、虫えいがまっさきに思い浮かぶ。ヌルデミミフシといってヌルデシロアブラムシが袋状の閉鎖形虫えいを作る。この中にアブラムシがいるときは触るとフワフワしている。この虫えいを採取してきた時に始末をしなかったために、辺り一面に大量のアブラムシがごそごそ這い回られて困ったことになったことがある。こうならないためには、火で炙ったり、又は密閉した袋に入れておくといいようだ。この虫こぶに興味をもったのは草木染めの染料としてタンニンをたくさん含んでいるため五倍子(ごばいし)と呼ばれ染め物に

適しているからだ。処理した虫こぶの中にアブラムシが入っている状態で煮出して染めたときにこの虫が布について何ともいえない模様を作り出した。これもまた味があっていいものである。

このアブラムシなのだが、秋に虫えいを脱出した後にチョウチンゴケに移る。その後生まれた幼虫は越冬後有翅虫(えっとうごゆうしょうちゅう)となりヌルデに戻るそうだが、この虫えいのなかにアブラムシを食べる幼虫を発見したときには、自然界の壮大なドラマを見ているようだった。

ヌルデの実(果)は塩分を含んでいて口に含むとしょっぱい味がする。昔の塩が貴重な時代には利用されたようだ。

(富ちゃん)



処理した虫えい



五倍子で染めた布(ばいせん剤:みょうばん)

炭焼き体験!

DAIGO エコロジー村

11月4日(水)、高尾山国有林の日影沢自然体験学習施設において、明星大学環境生態系学科(吉澤秀治教授)の50名、教職員5名、DAIGO エコロジー村スタッフ8名の総勢60数名が参加して『炭焼・野外活動体験』を開催しました。この取組は、平成20年度からDAIGO エコロジー村と親交が深い吉澤秀治教授の依頼を受け実施しています。

体験内容は、炭焼活動をメインとしながらも、東日本大震災を経験したのものとして、サバイバルをもう一つのコンセプトに掲げ、伐採した竹から食器や箸を作り飯盒炊飯を行う科目も同時に行われます。また、昨年度から体験場所として高尾山日影沢を選びましたが、ここは植生の宝庫であり、自然環境観察も活動内容に加えています。

学生は本年度入学の1年生が対象ですが、どちらかと言えば都会っ子が多く、山作業な



【自然観察学習】

どの経験者はほとんどいません。飯盒炊飯もいわゆるBBQ程度の経験であり、現地で自らコメをときご飯を炊くという経験もなかったのですが、逆に彼らには新鮮な活動となったようです。

炭焼体験については、施設のドラム缶窯が改修された新しい窯であり、「初焼」という貴重な体験にもなりました。学生は大きく2グループに分かれ、炭焼体験と自然環境観察をそれぞれ交代で行いました



【竹割体験】

が、ちょうど間伐の森林整備事業が周辺で実施されており、管轄の東京神奈川森林管理署高尾森林

事務所にもお願いし、なかなか見られない森林作業の見学も出来ました。

今回焼く竹の炭材は、事前に学生が日野市にある竹林の間伐作業を行ったときに切り出した間伐材を使用しました。竹はドラム缶の長さに合わせてノコで80cmに切りそろえ、竹割器を使って板状にしました。竹割器を見るのも使うのも学生全員初めての体験でしたが、慣れて来ると竹割そのものが面白く感じたようです。窯は今回改修で新調されたもので、スタッフも初めて使用したのですが、構造は依然と変わらないものの、炭化温度や燃焼、排煙状況などについては、学生からの質問に答える形ではあったものの、ともに「考える」というスタイルが出来たことは新鮮でした。



【飯盒炊飯】

また、飯盒炊飯も、飯盒を使うことが初めての学生が多かったのですが、米とき、水分調整、火加減などをスタッフから指導を受け、何とかお昼ご飯を食べることが出来ました。ご飯の炊きあがりには固いものややわらかいものなどありましたが、やはり自分たちで行動して食べる食事はおいしく格別のようでした。一行は、大学から大型バスでの来場でしたが、4時間という短い時間にも関わらず、中味の濃い体験を満喫しました。



【みんなで記念撮影】

文章・写真

NPO 法人日本エコクラブ
DAIGO エコロジー村
理事兼助役 川口 武文

森林散策とつるかご編み

平成 27 年 11 月 14 日（土）に「森林散策とつるかご編み」を実施しました。

この一般公募イベントは毎年人気があり、定員 30 名で募集したところ 85 名もの応募がありました。

当日は、森林ふれあい館に集合し開会式を行った後に大平林道を往復 1 時間程度歩き、樹木及び山の機能等について説明しました。



ふたたび森林ふれあい館に戻り、つるかごの編み方を説明した後に、各々思い描いていたつるかごを夢中になり編んでいました。



参加者からは「植物・虫・鳥のことなど、自分だけでは見過ごしてしまう事を色々と教えていただき、とても良いイベントでした。」「つるかご編みがメインだと思っていたが、森林散策の話が上手で時間が経つのを忘れるほど面白かった。」「普段経験できない物作りを体験できて良かった。」また、「森林散策・つるかご編み両方の時間をもう少し長く取ってほしい」など、今後の運営について少し考えさせられる様な感想も頂きましたが好評のうちに終了しました。（ヤ）



あじのあるつる籠が完成しました

森林教室

秋も深まり木々も色づきだした高尾の森林で、小学校 2 校が森林教室を行いました。

八王子市立みなみ野君田小学校

10 月 29 日に東京都八王子市立みなみ野君田小学校 5 年生 103 名が、森林の働きなどについて学習に訪れました。

座学のほか、丸太切り体験や森林散策などを行い、日頃体験することのできない貴重な体験をし、児童たちからは、「環境について考えさせられました」「丸太切りは苦労しましたがたくさん切ることができ楽しかったです」などの感想が寄せられました。

また、この日は職場体験に訪れていた八王子市立恩方中学校の生徒たちもセンター職員とともに行動し、貴重な体験をしました。



横浜市立下田小学校

11 月 6 日には神奈川県横浜市立下田小学校 4 年生 113 名が、宿泊学習の一環で森林ふれあい館を訪れ、午前森林の働きについての学習と丸太切り、午後からは森林散策を行いました。

体験した児童たちからは、「森林の働きがよくわかりました」「いろいろな植物の名前を教えてもらって楽しかったです」などと感想が寄せられ、1 日の疲れも見せず宿泊地へ向け元気にバスに乗り込みました。

マッホー



樹木の生長について学習（写真：上）山彦ポイントで（写真：下）

イベント情報(参加者募集)

イベント情報

○高尾森林ふれあい推進センター協定イベント

(実施主体：森林インストラクター東京会)

樹木や草花だけでなく、冬芽も観察しましょう。薬王院では初詣客でにぎわうお正月らしい高尾山の雰囲気を楽しめます。

陽だまりハイク～正月の高尾山を楽しむ～



- 日時** 平成28年1月8日(金)
(荒天中止の判断は、前日に連絡します。)
- 集合** 京王線高尾山口駅 9時00分
- 解散** ケブルカー高尾山駅 14時30分
- 募集人員** 30名(応募者多数の場合は抽選)
- 応募締切** 平成27年12月25日(金) 必着
- 参加費** 大人1700円
(別途ケーブルで下山する場合は480円)
- 持物等** 弁当、飲物、帽子、雨具、ルーペ(あれば)、防寒着、保険証、軽登山靴など

【申込方法】 往復ハガキ

①イベント名、②参加者全員の郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、性別、電話番号(自宅及び携帯電話)、メールアドレス、③このイベントを何で知ったか、④返信面の宛名を記入の上、締切日までに到着するよう下記あてお申込みください。

【申込先】 〒193-0844 八王子市高尾町 2438-1 林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター 森林ふれあい推進事業「陽だまりハイク」係

【問合せ先】 森林インストラクター東京会
宮崎 080-5451-1644 (携帯)
kojirojunior@gmail.com (メール)

編集後記

過日、某TV番組で高尾界隈が紹介された。放送後は、ケーブルカーへと続く参道は渋谷のスクランブル交差点並みの人出となり驚いた。いよいよ師走。年忘れの宴も増える頃。体調と貴重品の管理には注意したいものだ。(清)



○高尾森林ふれあい推進センター協定イベント

(実施主体：森と人のネットワーク)

日影沢の林道沿いを歩きながら高尾の自然を楽しむ自然観察会です。

「冬の高尾を楽しむ自然観察」

- 日時** 平成28年1月30日(土)
- 集合場所** JR高尾駅北口(受付後小仏行きバスで移動)
- 解散時間** 15時00分頃
- 開催場所** 八王子市裏高尾(日影沢キャンプ場周辺)
- 募集人員** 約40名(先着順)
- 参加費** 200円(別途バス代必要)
- 講師** 山田 陽治 氏
- 開催内容** 日影沢周辺での自然観察
林道沿いを歩きながら高尾の自然を楽しむ自然観察会
(お子さんの参加には保護者の同伴をお願いします)



【申込方法】 電子メール

メールタイトルに「高尾自然観察会(1月)希望」と明記し、①参加者の住所、②参加者全員の氏名・年齢(保険加入の為)、③代表者の連絡先(メールアドレス)、④電話番号(可能であれば携帯番号)を記載し下記メールアドレスに送信してください。
応募先メールアドレス：

morijin.network@gmail.com

【問合せ先】

メールにて「特定非営利活動法人 森と人のネットワーク」へ

メールアドレス：morijin.network@gmail.com
森と人のネットワークHP
(faceBook)

<http://www.facebook.com/morijin.network>
(Canpan 掲示板)
<http://blog.canpan.info/morijin/>

Forest 通信 No.322

発行：林野庁関東森林管理局高尾森林ふれあい推進センター
【ご意見、ご要望及びイベント情報のお問合せ先】
林野庁 関東森林管理局 高尾森林ふれあい推進センター
〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2438-1
電話 042-663-6689 FAX042-663-7229
<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>